五

平戸戦時日誌

1424　1423

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

時日誌

1424　1423

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

司令長官
参謀長
幕僚
海軍

平戸機密第一二九号

大正三年九月十三日

平戸艦長幸田鉦太郎

十二町三日進

海軍大臣長岡村連雄殿

戦時日誌提出ノ件

一、軍艦平戸戦時日誌（大正三年八月分）壹冊

右提出ス

防衛研究所 二二二ノ一七

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

大正三年

軍艦平戸開戰前誌

行動作業

機関

日獨開戰前本艦ハ第一警備艦特別定員ニテ（キトレリ）出港
他機関各部ノ修理「ダルビン」機械ノ分解検査ノ為
呉工廠陸岸ニ舶艦繋泊ノ状態ニアリタリ
是ヨリ曩キ本艦ハ其他機関各部ノ修理（呉廠）
「ダルビン」機械ノ分解検査ヲ入（海軍）施行中ノ八月初旬
欧州ノ風雲急ナルニ当リ同月四日呉廠発令ニテ
艦員ノ半ヲ施行シ「ダルビン」機械組立作業ヲ
急ク可シ幾日ノ要スルヤ問ヒ機関長ハ兵員休暇
ヲ止メ全力ヲ挙ケテ八月一杯ニ為ス旨ヲ答ヘタリ
翌同月日ヨリ左舷機ノ組立作業ハ工廠員右舷機
ハ艦員ニテ同月三十日迄ニ竣成ノ積定ニテ着手

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

レ差ノ埃陣其他ノ修理モ同日迄ニ結了セシムル事トシ
作業ヲ急ク決定シ之レ即チ呉工廠兵器廠ヲ要会
ニ対シ工廠カ平戸ノ工事ハ公週間ニテ結了スヘキ旨回答
ヲ発シタル為ノ本機ヲハ別ニ請求スルモノトシ「ルビン」機
械ノ組立ヲ手傳ヒ全力ヲ挙ケテ本作業ヲ施行スル
事トナリたるモナリ然レトモ本組ニ於テハ特別定員ヲ以テ
「ルビン」機械分解検査ノ大作業ヲ着手シタル結果
長月日間補助機械類ニ手ヲ下サヽル暇ナカリシカ故ニ
此期間ハ於テ各補助機械ノ要部ヲ分解検査ヲ
入ル施行セリ又此期間ハ公式ニ臨戦準備ノ命ヲ
受ケサリシト雖モ情況ニ鑑ミ極力臨戦準備ノ覚
悟ヲ以テ必要ナル作業ヲ行ヘリ然レトモ佐世保着ノ
上人員ヲ増加シタル為定ナリシ以テ行動要員ハ在庫

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

大正三年八月十八日	作業	令達報告	
八月十九日			

品ノ外三〇〇〇〇〇ノ外部油ノ呉軍需庫ヲ借用搭載セルニ付新ノ如ク作業ヲ急キタルト日子サイカリシ為機関ノ部分ニ迄充分ニ手ヲ下スノ餘地ナカリシナリ

軍艦平戸戦時日誌

火曜日　呉工廠前面鎮地抽纜碇泊

天候晴　温度九十五度　晴雨計三〇・一〇　風力〇・一　南

繼内子入

水曜日　呉工廠前面鎮地抽纜碇泊

天候晴　温度八十九度　晴雨計三〇・二五　風力〇・一　風向南

呉鎮機密第四四五号ノ五六受領

（海軍大臣ヨリ到令第一号）戦時編制ノ一部實施セラレタル旨艦隊第一戦隊編入（八月十八日付）

左ノ通リ第五艦隊司令官ニ電報上申ス

海　匡

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

本艦八明二十日機関部修理工事完成入渠要
スルモ呉ニテハ船渠ノ都合悪シク貴地回航ニ出機ヲ得
バ入渠ノ御認許ヲ得ル希望ニテ二十日迄ニ弾薬
糧食需品搭載ヲ了シ二日午前七時出港ニテ
日午前佐伯入港ノ希望但シ石炭五百噸重油
三十四噸丸薬ニ就キ入渠ノ都合上其他ニテ補充
スル予ニ致シ度御認許ヲ乞フ

行動作業

共器

B四号標ニ撃留

實用頭部實用爆発尖 嚢合試験 第一入

各電路試験

八月二日

水曜日 呉 B四号標

天候晴 温度八十七度 晴 西南西三〇〇〇 風向 南 風力 一

連絡報告

一、呉鎮機密第四四五号ノ五八受領

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

（後筆）戰列部隊ニ屬スル艦船ハ準備整ヒ次第各其集合地ニ到ルベシ

六 第一艦隊司令長官ヨリ無電

電報上申ノ件 許ス但軍需品及裝備ノ搭載方ハ左ノ通リ心得ヘシ

(一) 裝備ハ銃彈薬共三分ノ二 彈丸全數 經費 被服 糧食 三ヶ月 需品四ヶ月

(二) 万一ニ備フル為ノ彈丸全數ノ三分ノ一ニ信管裝着スベシ 信管裝着及搭載中他彈丸トノ区別ニ就テハ充分ノ注意ヲ要ス

行動作業	
機関部修理完成試運転ノ為ノ港内出動	
兵員補充 彈薬搭載	
彈薬火工品搭載ノ通リ搭載ス	

兵器	品名	數量	記事

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

弾丸	金数	旗艦金剛ヨリノ電信ニハ装薬小銃弾薬ノ搭載量三分ノ二トアリシモ海軍大臣ノ訓令ノ意味ヲ解釈シ其ノ実ニ積載スルヲ便トセシヲ以テ上記ノ如ク金数ヲ掲載セリ
常装薬	金数	
小銃弾薬	金数	
散線射撃用弾薬	金額	八月十三日旗艦金剛ヨリ新発ニ第一艦隊ニ編入セラレタル軍艦ヘノ電信ニ準據シ上記ノ如ク積載ス
全右実包装薬	六寸三〇 三寸二〇	
諸号用砲弾	年額	
兵器	四分ノ一	

機関

朝ニ至リ同月八日附ヲ以テ第一艦隊ニ編入セラレタル旨ヲ知ラセ直ニ工廠ヲ出港附ヲ放レテ沖ノ繫留所ニ繫留操練ヲ行ヒ初テ補助蒸気管ニ蒸気ヲ通シ使用ニ堪ヘサル部分ノ修繕及補助復水器ヲ運転シ続テ各補助機関ノ試運転ヲ行ヒ全部合金年ノ蒸気調整ヲ施行シ又主蒸気管ニ蒸気ヲ通シ主機械ヲ復機シ各部操作ニ繫留運転ヲ行フ其結

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

八月三十日

経理	果工廠ニテ修理施行セル右舷機発停第中間第不工合ニシテ蒸気漏洩稍甚キヲ以テ之カ再施行ヲ求メタルニ五日間ノ日子ヲ要スト事ナリシヲ以テ更ニ翌日試運転ヲ行ヒタル上決定スルコトヽセリ
	呉海軍経理部ヨリ発行ノ仕拂命令ニ対スル無費ヲ呉支金庫ヨリ受領シ乗組總員ニ対シ俸給ニケ月分ヲ前金渡ス
衛生	珊瑚島四ヶ月分受領ス
	金曜日　呉軍港B四浮標
	天候晴　温度八九度　晴雨計九九六　風向南東　風力一
令達報告	呉鎮機密第四五号ノ六ノ通達
	(後翌)帝国海軍ハ全力ヲ以テ神速準備ヲ完成シ時ニ臨シテ遺漏無キ事ヲ期ス

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

八月二日

行動作業

需品搭載　試運転ノ為メ遠田岩動

雑件

修理　検査品全部完成受領　需品四ヶ月分搭載

兵器

資用顕部装薬火工器全部搭載

機関

缶安全弁蒸気調整及主機械試運転ヲ行フ其結果中間弁発停弁ノ漏洩ハ前日ト同様ナレ航海中ハ之ヲ遮断シ置キ後進ノ仕要ナシ陸レ之ヲ開クノ方法ヲ採ラハ使用ニハ差支ナキヲ認メタル故呉鎮守府機関長ヘ以上機関ノ概況ヲ報告シ且ツ其御意見ヲ伺ヒ

翌日出発スル事ニ決ス

経理

糧食四ヶ月分　被服六ヶ月分搭載

出曜日、

正午位置　北緯三十四度四十分　東経百三十五度三十分

天候雲　遠度八十三度　晴雨計　九九〇　風向　東　風力一

令達報告

第五艦隊参謀長ヲ為ス電、

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

八月十三日

行動作業	一、入渠ノ件ハ當港着港ノ上確定ス 二、状況ニ変化アリタルハ明後日入渠ノ予定
	一、午前七時十五分佐世保ニ向ヒ呉出港午後六時半十五関海峡通過
兵器	三吋砲弾薬一二〇、并ニ信管火管ヲ裝塡ス
機関	呉発佐世保ニ向フ此間機械ノ試運転ヲ兼ネ速力ハ大凡七浬ヨリ十七浬ヲ通算採用セリ
	日曜日　佐世保C十球標
	天候曇　温度八十五度　晴雨計一九〇度　風向北東　風力五
今迄報告	一、宣戰ノ詔書ヲ発セラレタル日正午ヲ以テ日獨両国交戰状態ニ入レリ
	二、第一艦隊横須賀ヲ八月八日（第一艦隊第一分隊）発航
行動作業	一、正午佐世保入港入渠ノ為ノ裝塡 大工器具陸揚

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

八月二十四日

兵器

電気火管ノ取外シ理丸ノ外装薬火工器類合計陸上六

薬庫ニ揚陸ス

機関

佐世保着水艦油中石炭消費額甚タ多量ニシテ兵員

ノ疲労極度ニ達シ猶ノ缶圧ヲ維持スル能ハサルノ悲境ニ

遭遇セリ其原因ヲ尋ネルニ機関ノ細部ニ手ヲ下ス暇ナ

カリシ為ノ缶水消費量ノ甚タ大ナリシト艦底ノ汚穢ナ

リシト兵員ノ航海作業ニ対スル訓練行ハレス且ツ連続

長時日間殆ント昼夜兼行ノ状態ニテ作業ニ従事シ

ル結果疲労セル等ニ依ルモノト認ム　水航海中缶水喞

筒機械ノ第壱一個ヲ破損ス

経理

獨国ニ向ケ宣戦セラレタルニ付准士官以上ハ俸給ノ五分ノ

一下士卒雇員傭人ニハ四分ノ一ノ俸給ヲ減セラル

月曜日、佐世保第三艦隊

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

八月三十日

令達	天候雨　温度八十五度　晴雨計二九・五。　風向東　風力二
報告	一、第一艦隊機密第一八八號（第一艦隊戰策）第一艦隊練合第一又號受領
行動	佐世保第三船渠入渠　艦外底塗換
作業	
兵器	一、前部旋回砲（六寸砲）俯仰固難トナリシヲ工廠ノ手ニテ砲身ヲ引出シ之ヲ検スルニ砲鞍耳及耳座ニ鑢目形細線狀ノ瑕瑾ヲ生シ周囲ノ砲塔中ニ鉄粉ノ混入セルヲ認ム由テ之ヲ摺リ合セ分解手入ヲ行ヒ復旧セシニ結果良好ナリ
	二、東雲調整
機關	艦底塗換及外底保護亜鉛取換等多ノ入渠
衛生	明治四十一年十月官房機密第二六九號ノ標準ニテ佐世保海軍病院ヲ治療所ヲ受領　爾後載ス
	火曜日　佐世保第三船渠

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

八月三十六日

今達告報	天候雨　強度之之度　晴雨計八、六五　風向東　風力四
行動作業	笠置陽城宮第八公弾（重量四貫余）受領
機関	臨戦準備ノ部員施不用物品揚陸　銘鎖十人
経理	並外部掃除機関十人
	英海軍経理部ヨリ電送ノ経費依存保文金庫ヨリ受領
	繊維部第四ノ依存保軍工廠第四庫ヨリ受領
	水曜日　依存保第三船渠
	天候雨　強度七十八度　晴雨計元八四　風向南東
行動作業	船渠ニ於ル　装備火工品艤装載
兵器	一、両部六吋砲揚弾筒装置陣中故障ヲ生シ運転不可
	他ノ一ヲリ内ヲ工廠ノ手ニ移セシ弾載鎖ノ両側面ニ附着
	セル仮金装置発條切損ヲ鉄軸及ビ弾載鎖軸ノ
	事由セルモノアリ場合解体修理ヲ加ヘシモ作働良好ナリ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

八月三十日

機関

二、裝薬火工品類全部搭載ス

夕刻ヨリ錨泊ス、久リ重油二五〇瓩搭載ス

行動作業

九曜日　佐世保ヲ出港

天候晴　瑞度八十六度　晴雨計元・九九

午前出港直ニ石炭搭載（六三〇瓩）翌朝三時終了

機関

破損ヲ疏水喞筒機械、舵軸受修理後除分取附

八月三十一日

令達報告

金曜日　正午低圧　北東三度三分　風向南西

天候晴　西度八度　晴雨計二九・九八　速度　面三九度九分　月力　六

一、旗艦機関修理ヲ信濃命令

真ニ出発ノ準備ヲ迅速ニ整備ス、整備ヲ直ニ報告ス（午前二〇〇〇）

一、第一潜隊機関第九一隊（第一潜隊命令受領）

二、第二戦隊機関第一隊（第二戦隊命令）受領

三、午前八時ニ令出港準備完成、整備ヲ報告ス

四、機関大別ヲ信濃ニ信号「貴艦ノ準備ハ如何」

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

應ジ即チ各自夫々ニ準備シ置キ入港ニ当リ遺漏ナカラシムルモノ、

行動作業

外遠洋航行ト大(午後七時三十分変更)

午前八時三十分編隊矢測平ヒ、当港出発遠江灘ニ進出

第一次編隊間隔横陣ニ変ノ為ノ対馬海峡ニ向フ午後六時

三十分解列午後八時三十分単縦哨戒線ニ入リ警戒航行ヲ

哨戒速力七節

兵器

一、六吋砲弾薬庫ニ仮火薬第三〇〇個電気火管二〇〇個

装填ス

機関

一、電用興部装薬装塡

午前五時三十分出港準備ヲ整ヘ整備作業報告ス(十分)

時ニ一、二、三、四、九、十、十一、十二、砲台点火ヲ命ス

午前八時三十分佐世保出港哨戒位置ニ服ス出港ヲ哨

戒地点ニ至ル迄ハ第一速力哨戒地点ニ達シ後ハ第一速

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

八月二十九日

経理

十理半遠之理ニテ其ノ年今受領後三十分以内ニ十五理ノ遠カリ出シ得ル準備アルヲ要スルノ年ヲ受ケタリ

行動作業

對適行動ノ為ノ他者保出動本日ヨリ進出以上ニ伸縮ノ五分ノ二下士卒繼續個人ニ対シ伸縮ノ四分ノ二ヲ博得セリ

兵器

土曜日　正午位置　北緯三十四度三十八分　東経一百三十九度五十分　風向北ヨリ東　風力三ー四

天候半晴　温度七十八度　時間計三〇〇〇

東北道移動哨戒　機内手入

六吋砲常装薬伝火薬三四〇個三吋砲常装薬ニ電気火管二三〇個装着ス

八月三十日

日曜日　正午位置　北緯三十四度四十五分　東経一百三十九度五十五分

天候曇　温度七十五度　時間計三〇〇　風向北東　風力三

移動哨戒　火管伝火薬閉方　機内手入　防水排水整備

八月三十一日

月曜日　正午位置　北緯三十四度三十九分　東経一百三十九度五十分

天候晴　温度七十九度　時間計三〇〇　風向北東　風力一ー二

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

令達報告	旅団長ヨリ師団長ヘ「其後ノ監視区域ニ通報シ他哨所ヨリ接近スル船舶ノ有無ニ関シ」通知スベシ
行動作業	移動哨戒　勅諭奉戴　講話　防火教練（八月分終了）

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp